



9月に入り、本当に涼しくなるのかしらと天気予報とにらめっこをしていましたが、廊下のガラス戸を開けると気持ちの良い風が吹き込んできました。テラスに出た子どもたちの髪が風にさらさら揺れ、爽やかな秋の到来を実感しました。

テラスや園庭まで遊び場を広げ、子どもたちと追いかけてっこやかくれんぼ、車に乗ったり押したりして元気いっぱい外遊びを楽しんでいきたいです。バッタさん、だんごむしさんも待っていることですね。



### ☆一緒に遊んで楽しいね！

1歳をすぎると、一緒に遊ぼうよ、お手てをつなぐよと誘うと、子どもたちから集まって来て手を出し合うようになりました。

お互いに相手に関心を持つようになり、お友だちという意識が生まれてきたようです。玩具や場の取り合いも始まりましたが、関わりあう中で子どもたちの心が育っていることを感じます。



### ☆ママ・ミニ・メール

お母さん方に、遊びやおやつレシピ、困った時の対処法などいろいろな情報をお聞きしました。今回は、浦塚さんです。

8月、中島公園名水河川プールに行きました。

川の流れを利用したプールで、小さな子どもでも、ゆるやかな流れの中で泳いだり、水遊びができました。魚も一緒に泳いでいたり、オタマジャクシがいたり、きれいな小石もあって、子どもたちは大喜びで遊び、また行きたいと言っています。(大分県竹田市河宇田)

### ☆絵本の紹介「ごあいさつ あそび」

ゆうちゃんのお家に、誰か来ました。

**ピンポーン!** 小鳥のピーちゃんが頭を下げて「こんにちは」とご挨拶します。犬や怪獣さんも次々と来てご挨拶。ゆうちゃんのママがケーキをご馳走してくれました。みんなで「ありがとう」と言いました。



### ☆親子で触れ合い遊びを楽しみましょう「ここは父ちゃん 似どころ」



- ・お子さんを膝に抱き、向かい合って、顔をお母さんの指でなぞります。
- ・歌(唱え歌なのでメロディはなく、自由に歌ってください)
- ・ここは爺ちゃん 似どころ … 額を指で軽くトントンします。
- ・ここは婆ちゃん 似どころ … 鼻を同じくトントンします。
- ・ここは父ちゃん似どころ … 右ほほを同じくトントンします。
- ・ここは母ちゃん似どころ … 左ほほを同じくトントンします。
- ・可愛い 可愛い … 顔のまわりを手のひらで優しくなで
- ・可愛い ○○ちゃん … ギューと抱きしめます。

※朝夕の気温差に応じて調節できる衣服のご用意をお願いします。(福岡 今丸 木山 船石 尾崎)

## すみれぐみだより



平成30年9月10日(月)

立秋に向けて少しずつ涼しい風が吹き始め、過ごしやすくなってきました。朝夕は涼しくても日中はまだまだ暑く体調不良になりやすいので、食事や睡眠などの生活リズムを整え、園庭に咲く花や虫などに気付くようお天気の良い日には外遊びを楽しみたいと思います。また、子どもと保育士がお互いの手を繋ぐことで、優しさを届けながら、見つめる目、触れ合う肌と通い合う心の温まる“なでしこの日”を過ごします。



### 「できた!!」

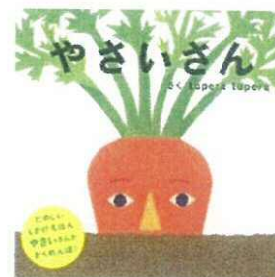
少しずつ身の回りのことを自分でしようとするようになりました。食事では手づかみからスプーンやフォークを使うようになりこぼす量も減ってきました。

衣服の着脱では、自分でパンツやズボンをはこうとしますが、足を同じ穴に通したり裾から足が出なかつたりして、「あれ〜?」と言いながら再び挑戦しています。保育士が手伝おうとするとズボンを持つ手が強くなり、真剣な表情ではいています。そんな姿を見ると自立へ向かっているのだと感じます。



### ～絵本の紹介～「やさいさん」

畑の土から見えている葉っぱたち。「やさいさんやさいさんだあれ」のフレーズに合わせて縦に開くページをめくると「すっぽん」と人参やじゃが芋など野菜が土の中から出てくる仕掛け絵本です。何度も読んでいくうちに子どもたちは野菜の名前を覚え「かぶさん」「さつまいもさん」などの野菜まで言えるようになりました。野菜に興味が出てきているようで給食に出てきた野菜をスプーンですくい「これ何?」と名前を聞いたり、「にんじんさん、一緒ね」と話したりしていますよ。



すみれ組担任：草場、有菌



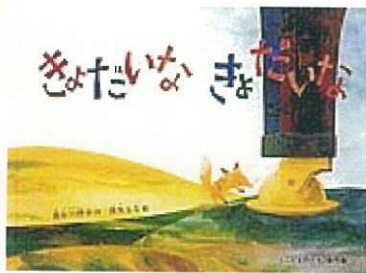
平成30年9月10日(月)

お日様の光は、まだ強いけれど、日陰に入ってみたら気持ちよい秋の風が子どもたちの顔や手をなでていきました。たくさん遊んで、日焼けした子どもたちは、一段とたくましくなったように感じます。

先日、ちゅうりっぷぐみになり初めて園外にお散歩に行きました。目的地の公園まで、友だちと手を繋いでいこうねと伝えると、一緒に歩いている友だちに「おてて、離れたらだめよ」とお話ししながら歩いていましたよ。公園に着くと、鉄棒にぶら下がったり、すべり台を滑ったりして遊んでいました。解放感がある公園で飲んだお茶はいつもよりおいしく感じたようで「おいし〜」と言っていました。今後も、色づいた葉を見たり、木の実を拾ったりして自然に触れながら散歩を楽しもうと思います。



絵本の紹介



「きょだいな きょだいな」

作：長谷川 摂子 絵：降矢 なな

「あったとさ あったとさ……巨大なピアノがあったとさ」巨大なピアノ、巨大な石けん、巨大な扇風機などで百人の子どもが思いきり遊びます。リズムカルな言葉と元気な絵の楽しい絵本です。ちゅうりっぷぐみの子どもたちも笑顔で「あったとさ……」とくりかえし保育士と一緒に声にだして楽しんでます。

「あ〜あ」

お食事の配膳をしている時に、ひじがコップに当たってお茶をこぼしてしまった子どもがいました。” どうしよう ” といった表情に気づいた保育士は、その子どもに近づこうとしましたが、さっちゃんがサッと立ち上がり、手洗い場の横にある棚から手拭用のタオルを一枚取り、床にこぼれたお茶を「あ〜あ」と言いながら拭いてあげていました。拭いてもらった友だちが「ありがとう」と言うと「どういたしまして」とさつきちゃん。そのやりとりを見て、心の育ちを嬉しく思い、見守ることの大切さを改めて感じました。

ちゅうりっぷぐみ担任：中村、唐木、崎野



# 9 がつこそもすだより



平成 30 年 9 月 10 日 (月)

田んぼの稲穂が黄色く穂を垂れて、「実りの秋」が始まりました。草むらからこおろぎや鈴虫などの鳴き声が涼しげに聞こえ、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。暑さもようやく峠を越えたようです。8月は猛暑で室内で過ごす事が多かったが、秋を迎えこれからは戸外で体を動かして遊びたいと思います

子ども達の育ちの会話も増えて「これ、Aちゃんの！」から「みんなのよ！」に変わってきました。「一緒に遊ぼう。」と誘い合って、クラス集団を意識して遊ぶ姿も見られるようになり、目を細めて見守っている保育士2人です。



## ☆お絵描きや製作遊びをたくさんしました

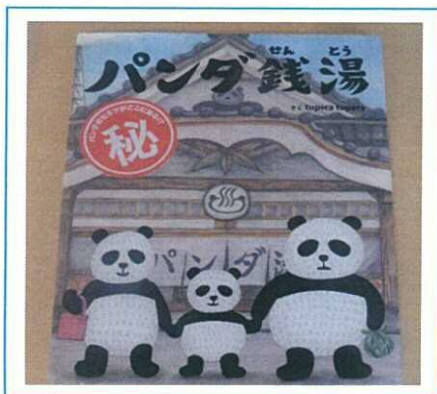
廃材を使って車を作りました。机で坂道を作ると「僕の車の方が遠くまで行ったよ！」と競争をしたり、「先生、道路描いて！」段ボールに道路を描くと、自分の車を走らせて遊んでいました。まだ遊びは続いています。

大きな紙にいっぱい絵を描いてみました。「虹を描いたよ。」「お化けを描いた。」「見て！ロボットよ。」「迷路が出来た。」「クジラ描いたよ。」まだまだ、お話は尽きませんでした。その後みんなで床の拭き掃除をしてきれいな保育室になりました。

## ☆遊び歌「アブラハムの子」を楽しんでいます

♪アブラハムには7人の子…♪と歌いながら右手→左手→右足→左足→頭→お尻→回ると1つずつ動かす身体の部位が増えていきます。

「先生、アブラハム踊ろう！」と子ども達からのリクエストが多く、毎日面白い表現を見せてくれます。



## ☆今月の絵本「パンダ銭湯」

パンダの親子が銭湯に行って、お風呂に入るお話です。

……が、1枚ずつ脱いで入るのです???

「チャッチャッ」「ペロン」と脱いでいくと、子ども達が「なんで？」と不思議そうに見ています。そのうちに「は は は」と笑い声が変わっていきます。



平成30年9月10日(月) 発行

強い太陽の日差しがまだ強く感じる日中ですが、時折吹く風は涼しく、季節が少しずつ変わっているのを感じます。ひまわりぐみの窓から見えるさくらの木の葉っぱが、緑から黄色や茶色に変化する様子を見て、子どもたちも夏から秋への変化を感じているようです。秋には登山・マラソン・遠足と行事がたくさんあります。行事を通して体力だけでなく、精神面でも大きく成長することとします。



### 金魚の二毛

先日、4年以上ひまわりぐみで過ごしていた金魚が亡くなりました。子ども達には突然の死で、悲しみや寂しさがあったようです。なぜ死んでしまったのか、死んだあとはどうなるのか、など子どもたちなりに考えていました。「死んだあとは星になって空から見てくれている」という、りさちゃんの言葉に、悲しい気持ちだけでなく“よかった”という安心した表情になっていました。

二毛を今後どうするか話し合い、茶屋町公園前の川に流して家族や仲間に見えるようにしてあげたい、ということになりました。「二毛ちゃん、バイバイ」「友だちに会えたらいいね」「空から見てね」と次々に別れを言っていました。



### ふたば夏祭り

8月31日にふたば夏祭りがありました。子どもたち自身が経験したり、見たりしたことの影響を元に、自分たちでどう表現しようかと考えていきました。屋台やみこし、太鼓の音が印象に残ったようで、ひまわりぐみは太鼓の演奏と踊りがしたいと話しが決まりました。どんなリズム・曲にするか、振り付けはどうか、どこで披露するかなど、クラス全員で話し合い完成させていきました。当日は天気にも恵まれ、3、4、5歳児で「わっしょい!わっしょい!」とみこしを担いで地域をまわりました。地域の方からの声援が力となって、たんぼぼ組、こすもす組と共に夏祭りが出来たことが、今年の夏の思い出に残ることとします。



涼しくなってきたので散歩に行く事が増えます。10月には登山もありますので、履きなれた運動靴での登園を宜しくお願い致します。



4歳児担任：西島・井上



発行：平成30年9月10日（月）

陽差しにはまだ夏の名残もありますが、日の長さもずいぶんと短くなってきました。たんぽぽぐみに負けないほど力強く鳴いていた蝉の声も、いつの間にかコオロギや鈴虫の綺麗な音色に変わり、秋の気配を感じられるようになりました。子どもたちも「朝と夜が涼しくなったよね」「桜の葉っぱが黄色くなってきてるよ」「最近夜が静かな気がする」「秋の風って優しくて気持ちいいね」と全身で季節の変化を感じています。

これから迎える実りの季節に、子どもたちの心も大きく実をふくらませることができるよう、この豊かな感性を大切にしようと思います。



### 「わっしょい！！ふたば夏まつり！！」

夏の間、夏祭りや海など多くの経験をした様子の子どもたち。特に、夏祭りでの活気や熱気は強く心に響いたようで、「保育園でもお祭りをしてみたい」と夏祭りの話し合いが始まりました。初めは「屋台をしたい！」「御神輿もいるよね」「花火は？」とそれぞれの思いががふくらみ、話しがまとまらず、数日間、話し合いが続きましたが「御神輿を見たときに、元気な気持ちになったから、私たちも御神輿を作って、元気を分けてあげよう！」と御神輿を作ることに決まりました。すると「誰に元気をわける？」と新たな議題が…。子どもたちは「んーふたば保育園？」「でも皆元気やん！」「そっか…」としばらく考え「わたなベショップとかは？」「あーいいかも！じゃあ、やすらぎ荘もどう？」「御神輿かついで、外を歩いたら車に乗ってる人も、家にいる人にも元気を分けられるね！」と地域を回ることになりました。ようやく御神輿作りが始まると、それぞれが役割分担をして、友だちとアイデアを出し合い、ときには意見がぶつかりながらも、子どもたちの思いのつまった2つの御神輿が出来上がりました。

ふたば夏祭り当日、園庭には「今日はおまつりだー！」と気合い十分なはっぴ姿の子どもたちの熱気が立ちこめ“わっしょーい！！”という力強いかけ声とともに御神輿がふたば保育園を出発しました。子どもたちは、大粒の汗をかきながらも“地域の方に元気を届けたい”という思うで、最後まで「頑張ろう！」と励まし合いながら、園に帰ってくるまで“わっしょい！！”とかけ声をかけ続け、御神輿を担ぎました。部屋に戻り、「あー楽しかった！」と大の字に寝転んだ子どもたちの表情は、“やったー”という達成感でいっぱいでした。自分たちの力でやり遂げたこの経験は、将来ずっと胸に残っていくと思います。そんな子どもの人間としての育ちの基礎をしっかり支えようと思っています。

### 頑張っ練習しています！

地域の老人の方々に披露するため、子どもたちは「黒田節」「ちゃっきり節」「あの丘越えて」の3つの踊りの練習をしています。「おじいちゃんたち喜んでくれると良いな」と練習にも力が入っています。

この秋は、引っ張りだこのたんぽぽ組。施設や舞台での発表の経験は、この秋の経験をより深めるようです。

つぎは  
皿倉登山だー！！



5歳児担任：田中・田村